**（計画書様式1）**

【助成事業計画書】は、本事業の基本計画です。誤読を誘わない、わかりやすい表現での記入を心がけてください。

・申請書にもとづいた記載であっても、JSTから変更の検討を依頼させていただく場合があることをご了承ください。

黒字は書式及び新たに記載すべき箇所を、青字は注釈や凡例を示しています。提出の際には、注釈・凡例は削除してください。

次年度更新時には、更新部分がわかるよう、黄色ハイライトをお願いします。

**大学フェローシップ創設事業 助成事業計画書**

**2021年度採択**

**科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業実施予定期間：**

**2021年4月1日　～　20○○年○月○日**

**1.　基本情報**

**（1）フェローシップ名称**

・フェローシップの名称は、同じ名称であっても、すべての支援タイプの名称をもれなく記載ください。フェローシップの名称に続けて鍵括弧で分野（支援タイプ）名を記入し、複数のフェローシップがある場合には改行して記載ください。以下例示します；

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇【ボトムアップ】

△△△△△△△△△△△△【分野指定型（情報･AI）】

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇【分野指定型（量子）】

□□□□□□□□□□□□【分野指定型（マテリアル）】

**（2）大学**

|  |  |
| --- | --- |
| 機関名 | ○○大学 |
| 機関全体の実施責任者 | ﾌﾘｶﾞﾅ |  |
| 氏名 |  |
| 所属・役職 | ※所属先の所在地 |
| 住所 |  |
| 電話番号 |  |
| ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ |  |

**改訂履歴**

本計画書様式1を改訂する際に使用する表です。

下記に変更内容等を記載の上、計画変更申請書または変更届と共に提出してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| No. | 変更提出日 | 変更内容 |
| 例示 | 1 | 20○年○月○日 | 関連記載箇所（実施責任者）の変更詳細は20○年○月○日付助成事業計画変更申請書を参照。 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

**2.　体制**

**（1）推進体制**

**（1-1）大学等**

※（計画書様式3）推進体制一覧 (3-1)大学等を参照してください。

こちらの項目への記入は不要です。（計画書様式3）推進体制一覧 (3-1)に記入してください。

**（1-2）外部協力機関**

※（計画書様式3）推進体制一覧 (3-2)外部協力機関を参照してください。

こちらの項目への記入は不要です。（計画書様式3）推進体制一覧 (3-2)外部協力機関に記入してください。

**（1-3）連携体制**

※フェローシップ事業における連携体制（機関連携含む）、活用する既存のプログラム等について、図等を用いて記載してください。

**3.　フェローシップの目的及び内容**

※「事業計画書」に基づいて、事業完了時に「実績報告書」を提出していただきます。実績報告書においては事業計画書の記載内容との整合を図る必要がありますので、それを前提として内容を具体的に記載してください。目的達成に向けて何を実施するか、事項項目・内容を挙げて区分し、具体的な内容を記載してください。

※「【計画書様式4】予算計画書」の計上金額・使途と関連付けて記載してください。

**（１）フェローシップの目的**

※事業全体の目的・目標・概要を記載してください。複数の分野（支援タイプ）がある場合は、それぞれの目的・目標・概要を記載下さい。公募時の申請書の内容を反映し、その範囲内で記載してください。

**（２）本年度のフェローシップの内容**

Ⅰ．全分野共通の取組

①

②

③

Ⅱ．分野（支援タイプ）ごとに実施する取組

①

②

③

**（３）研究力向上・キャリアパス支援に関する取組**

Ⅰ．全分野共通の取組

①

②

③

Ⅱ．分野（支援タイプ）ごとに実施する取組

①

②

③

**（３）博士後期課程修了後のキャリアパスを確保する取組**

Ⅰ．全分野共通の取組

①

②

③

Ⅱ．分野（支援タイプ）ごとに実施する取組

①

②

③

**4.　博士後期課程学生の選抜**

※学生の選抜について、以下の項目に沿って具体的に記載ください。

※支援タイプ毎に記載下さい。

※令和6年度計画においては、辞退者の補充分のみの選抜となります。辞退者が生じた場合の補充方針について記載ください。

**（1）募集方法**

※広報含め、どのように優秀で将来性のある博士後期課程学生を募集するのか、方法を記載してください。

**（2）応募要件**

※応募要件を設ける場合は具体的に記載ください。支援タイプ毎に募集対象とする研究科、専攻なども具体的に記載ください。

**（3）選抜方法・選考の観点（方針）**

※どのように優秀で将来性がある博士後期課程学生を選抜するのか、その方法・観点（方針）等について記載してください。

**（4）選抜体制**

※学外の有識者の参画など、独立した透明な選抜を確保する体制であることを明記してください。

**5.　選抜学生**

※（様式6）助成事業実施状況報告書（選抜学生一覧）を参照してください。

こちらの項目への記入は不要です。別添の様式6に記入してください。

**6.　実施内容**

※全分野共通の取組並びに、分野ごとに実施する取組をもれなく記載してください。「フェローシップ」、「研究力向上・キャリアパス支援に関する取組」、「博士後期課程修了後のキャリアパスを確保する取組」を、前項を踏まえてより具体的に記載ください。

※各年度におけるフェローシップのスケジュールをわかりやすく記載してください。

※各年度の選抜人数や選抜時期が分かるよう記載してください。

※年度終了時には当該年度の実態に即した記載に修正してください。

※今年度の実施内容について、より具体的な記載をお願いいたします。講習会、イベントの場合は、何月に何を実施するのか等、具体的な記載をお願いします。

※事業の開始期の令和2年度に体制整備を実施いただきましたが、計画書では選抜学生の支援が開始された令和3年度を1年度目としてください。

**（1）年間スケジュール**

**・1年度目（2021(R3）年度）**

　**・2年度目（2022(R4）年度）**

**・3年度目（2023(R5）年度）**

**・4年度目（2024(R6）年度）**

　**・5年度目（2025(R7）年度）**

**・6年度目（2026(R8）年度）**

**（2）既存の取組みとの連携・活用**

※博士後期課程学生支援に関するこれまでの取組みや実績があれば記載してください。また、他事業において得られた成果やノウハウ等を移植・活用する場合には、本事業でどのように更に発展させるのかについて記載してください。

**（3）運営チーム体制**

※機関全体の実施責任者のもとで、フェローシップを効果的に実施するための運営チームの体制を支援タイプ毎に記載してください。 サポート役となる教員、スタッフの人数、個々人のキャリア、類似プログラムの経験等を含めてください。運営チームは、URAや技術職員等の専門職を含めた他の教員、産業界からの外部有識者等を想定しています。

**7.　実施予算計画**

※（計画書様式4）予算計画書を参照してください。

**（1）事務経費の積算内訳**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 種別 | 助成対象経費（円） | 助成金（円） | 使途・積算内訳 |
| 物品費 |  |  | キャリアパス支援プログラム構築用パソコン150,000円 |
| 旅費 |  |  | 研究力向上・キャリアパス支援プログラム講師招聘旅費260,000円（4名×65,000円） |
| 人件費・謝金等 |  |  | プログラム・マネージャー人件費5,480,000円（給与300,000円×12月、賞与800,000円×年2回、諸手当600,000円、保険等480,000円）審査委員謝金360,000円（15人×8,000円×3時間） |
| その他 |  |  | 研究専念支援経費への充当1,500,000円（150,000円×10名）キャリアパス支援ワークショップ会場借料（200,000円／日） |
| 計 |  |  |  |

※令和４年度より、機関の裁量により事務経費の一部についてフェローシップ経費（ただし研究専念支援経費に限る。）として支出することを可とします。希望する機関は「研究専念支援経費」を「その他」に算出してください。

※助成対象経費による学生一人当たりのフェローシップ経費は、年間250万を上限とします。**ただし、令和５年度新規選抜学生については、フェロー経費の上限額を最大290万円まで引き上げることを可能とします。**

※ 事業計画書と関連付けて記入してください。

※ 「積算内訳」には、「助成対象経費」の使途内訳を記入してください（助成対象外となる経費は計上しないでください）。

※ 金額は円単位で記入し、計画書様式4：予算計画書に記載の金額と一致していることを確認してください。

※ 物品の購入手続き及び各種金額の算定根拠については、機関の規程等によるものとします。